

ハレット

山腹にたなびく雲

浅間山スケッチ会

北支部 波澄 忠行

11月8日気温10度曇り空、なんとも不安な天候。定刻に発車。途中休憩をとりながら一路常磐、関越、上信越道と車を進めて行く。

やがて妙義山を左に眺めて軽井沢あたりから、左右の山並みは紅葉（黄溪）の風景。

まるで日本画の世界に入り込んだ思いで車内は歓声の嵐。その風景を堪能しつつ、しばらくして、目的のサンピアホテルに無事到着する。曇り空ではあるが浅間連峰は山腹に雲がたなびき、絵にするには最高のものではないかと？でも快晴でないのが残念。会員は車を降りるや蜘蛛の子を散らすかのように寒い風の中をものともせず、各自の世界を求めて…。

夜は冷えた体を温泉で暖めての宴会では、2枚描いた、3枚描いた、との声も聞こえたりで、

かなりの盛り上がり。

翌日は午後から白糸の滝と鬼押出しの見学を終えて帰途につく。皆様の完成度の高い作品を期待しております。参加の皆様お疲れさまでした。



風をよけて浅間山と格闘する会員



文化祭を終えて

事務局 高野 千夏

延べ 2,300人。たくさんの方が、文化祭の絵画・彫刻ブースに足を運んでくれました。私たちの絵や彫刻は 2,300余人の目にどんなふう映ったのでしょうか・・・？出品者の思いがこもった力作には、ただただ感嘆の思いです。皆さん忙しい日々の中、よく時間を捻出し、制作しているなあと思いました。

11月2日は子どもたちの石ころアート・貝殻アートが開かれ、たくさん子どもたちが瞳を輝かせてアートに挑戦しました。その中に未来のピカソがいるかも知れませんよね。

当番の日、受付をしながら、色々な人が行き交うのを見ていました。誰かに脅かされることもなく、制約されることもなく、自由に絵や彫刻に専念し発表することができる、平和な時代をありがたいなと思いました。

最後に高橋理事長より「出品者数が昨年より少ないです。」とのお話がありました。では、次回に向け絵筆をとりましょうか・・・。



受付する加藤木さんと筒井さん



Teaタイム 美術連盟石神絵画教室

高橋忠治さんに

- 絵画教室の正式な名称と講師名を聞かせてください。
- ▲ 美術連盟石神絵画教室です。講師は、佐藤康雄さんと私、高橋です。
- 発足して何年になりますか。現在の会員数は何人ですか？
- ▲ 発足して6年になります。現在生徒さんは6人で、今まで延べ人数は18人になります。10人を定員としています。
- 定例の活動場所、活動日時と費用は？
- ▲ 石神コミセンで、第二、第四木曜日に行っています。年会費20,000円で22回、9時30分から16時までですが、野外スケッチの場合は8時から17時までです。
- 会の特色は何かありますか？また、目的としているところはどこですか？
- ▲ 現役を離れた方を主な対象としているので、木曜日に活動しています。絵画を通じて交流を深め、また美術連盟の会員になっていただくことをすすめています。現在までに5名の方が会員になりました。
- これからの活動計画は何かありますか？
- ▲ 年1回の発表と1泊スケッチ旅行です。

- 代表の高橋さんから、一言を！
- ▲ 現役を離れてからでも20年は描けますので、目標を定めて公募展などにも挑戦し、新たな生活空間を作っていただければと応援しています。和気あいあいと楽しくやっています。



夏井川溪谷でスケッチ、完成まぢかです。

新会員です。どうぞよろしく。

桑野 勝男さん (東支部)



初めまして。この度皆様の仲間に入れていただきました。桑野勝男です。自分も皆様のような、絵が描けたらいいなと思い、入りました。仲間入りすることで、絵の描き方や会話など、よいアドバイスをうけることができと思っています。よろしくをお願いします。

中村 均さん (西支部)



今回、新しく入会した中村です。何十年も絵を描いている諸先輩の仲間入りすることは心苦しい気持ちですが、絵を描く機会を少しでも多くつくるため入会を決意しました。

絵をはじめたきっかけは、ステーションギャラリーで絵画教室が開かれているのを知り、定年を機会に60の手習いで恐る恐る教室の扉をたたいたのが始まりです。歳はとっていますが、絵を描くのはピカピカの一年生です。今後共、ご指導のほどよろしくお願い致します。

公募展たより

入賞、入選おめでとうございます。

日立市展 (9/20~28)



紡がれた日々 山本啓子

日立市議会議長賞
山本啓子

日立ロータリー
クラブ会長賞
神永マサ子

入選
松尾秀子

県芸術祭 (10/4~19)



宙の指環H20-B 高橋 忠治

茨城新聞社賞
高橋 忠治

【洋画入選者】
佐藤静枝、木村隆、川崎敏子

【工芸入選者】
萩野谷博

国民文化祭

いばらき2008 (11/1~9)

【洋画入選者】

神永マサ子、木村隆
佐藤静枝、柴田伊久代
筒井京子、平野清子

事務局だより

来年の最初の行事、新年会は1月24日になりました。

Information

12/7~12/13	第4回画塾絵画作品展	東海ステーションギャラリー	画塾ブラネット
H21 1/27~2/2	四季展	サザ	仲田和子
2/1~4/30	第21回アートロード展	協賛店	会員
2/12~2/24	堀川豊彦個展	リコッティ	堀川豊彦

パレット編集員 木村、柴田、塙 / 高野 (イラスト)



絵画に関するアンケートの結果から(その2)

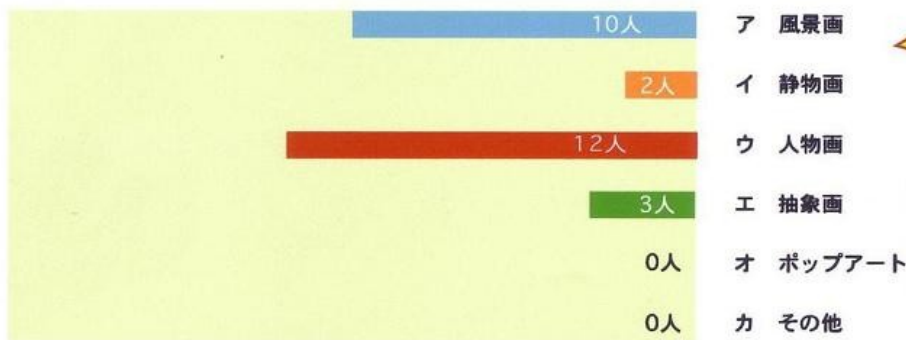
去る7月19、20日に実施した「絵画に関するアンケート」について、その後半の結果を報告します。前号の記事は、いろいろな機会に話題になったということを知っています。また、私たち編集委員も何人もの方から直接話を聞くことができ、うれしくなりました。

Q4. 絵を描くに当たってあなたの悩みはなんですか？



会員の皆さんの正直な声が開いてきました。エが最高でした。全くこのとおりですね。これについては謙虚に粘り強く次に見える頂を征服し、さらにその先を目指して、より高みに登りたいものです。カ、キ、クもまさに現実。家は狭いし、家具類は片づかない、しかし絵は少しでも大きいものが描きたい。額も必要になる。一つ増やすと一つ減らさなければならない。世の中、ままたまならないものです。その一方で、ウが0であることは特筆すべきではありませんか。東海美術連盟という磐石の組織があり、いくつものグループがあり、講習会があり、実に恵まれていると思います。また、他の設問では無答がなかったのに、この設問では3名の方が無答でした。悩みがないということなのでしょう。ああ、うらやましい。

Q5. あなたが今後最も力を入れたい絵の分野は？



人物画に力を入れたい

絵の基本を身につけようとする姿勢が見受けられます。また人物デッサンの勉強会が多いことからもうなずけます。

Q6. あなたが絵を描くに当たって、感じていることがありましたらお書きください。

回答数は11でした。以下に原文のまま列記します。コメントはおりませんね。

- | | |
|---|--|
| (1) 仲間は大切であること | (2) 表現がむずかしい |
| (3) 色が見つからない | (4) 自分を出して描きたい |
| (5) 生活の中でもっと時間がほしい | (6) 常に風景を観察し、自分に合ったモチーフを選定すること |
| (7) 心のゆとりが必要。そのため体調を常にととのえること | (8) なかなか上達しないため、枚数を多く描くことに心がけている |
| (9) 若い人は鑑賞よりも自分で描くことにアタックしてほしい | (10) 絵を描く場、機会、絵の好きな仲間等、環境の面で恵まれているありがたいことである |
| (11) 同じ物、同じ風景を描いても全く違う表現、色の違い等があり面白い。小学生の頃は、水は青、空は空色、木は茶、草は緑・・・という固定観念があった。今は色々な色が見え、さらに、各個人によっても違うことが、深く面白い。 | |